

環境パフォーマンス

項 目	単 位	2018年度	2019年度
エネルギー	kL/年(原油換算)	4,170	3,726
CO ₂	t-CO ₂ /年	8,567	6,346
水	m ³ /年	35,023	32,704
産業廃棄物排出量	kg/年	41,153	50,851
排水量(排水処理施設)	m ³ /年	17,771	15,785

大気関係

項 目	施設名	法・公的 規制	自主 管理基準	実測値		
				平均値	最大値	測定頻度
ばいじん(g/Nm ³)	ガス吸収式冷温水器 AR-1	0.05	0.02	—	—	1回/5年
NOx※(ppm)	ガス吸収式冷温水器 AR-1	150	44.0	24	24	2回/年

※NOx：窒素酸化物

水質関係

項 目	単 位	法・公的 規制	自主 管理基準	実測値		
				平均値	最大値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	mg/L	5.8～8.6	6.2～8.2	7.5	7.8	1回/月
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	35	10	4.6	8.7	1回/月
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	35	10	7.2	9.1	1回/月
浮遊物質(SS)	mg/L	70	5	4.1	5.0	1回/月
ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	4	1	1	1	1回/月
大腸菌群数	個/cm ³	3,000	20	1.6	10	1回/月

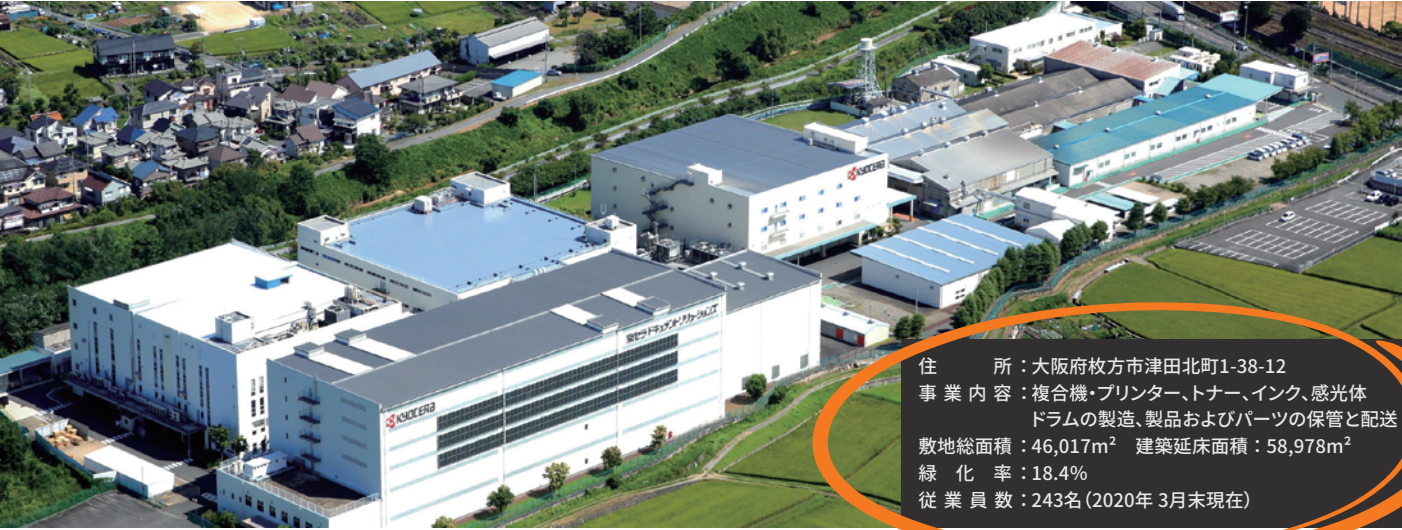
大気関係 排出総負荷量

項 目	排出総負荷量	
	2018年度	2019年度
NOx	0.23	0.16
SOx※	—	—

※SOx：硫黄酸化物

PRTR対象物質

物質番号	対象物質	取扱量	排出量			移動量		その他の量		
			大気排出	水域排出	土壌排出	廃棄物	下水道	リサイクル	消 費	除去処理
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸およびその塩	1,217	0	0	0	0.002	0	0	1,215	0
31	アンチモンおよびその化合物	1,340	0	0	0	0	0	0	1,340	0
報告対象物質合計		2,557	0	0	0	0.002	0	0	2,555	0



Hirakata Plant Sustainability Report 2020

京セラドキュメントソリューションズ 枚方工場サステナビリティレポート

工場長あいさつ

枚方工場は、大阪・京都・奈良の三都市から程近く、近隣には穂谷川、探鳥地として有名な山田池や「モニタリングサイト1000※1」、「日本の里100選※2」、の一つに選定された「穂谷地区の里山」があります。そして、その自然豊かな近隣には、関西文化学術研究都市の一面を占める学術研究地区があり、まさに自然と人と社会が共生する調和に満ちた絶好の環境と言えます。当工場は、枚方津田のこの地に設立以来56年目になります。これもひとえに近隣をはじめ社会の皆さまのご支援のおかげと深く感謝し、今後も引き続き、より積極的に自然環境の保護に貢献できるよう、そして、安全・安心を最優先にして、事業活動に取り組んでまいります。

※1：環境省による里地調査の重点調査地域

※2：朝日新聞社・(財)森林文化協会による選定



工場長 枝廣 和久

2019年度 環境目標と実績

環境目的	項 目	2019年度目標	2019年度実績	結 果	コ メ ン ト
低炭素社会への貢献	温室効果ガス排出量原単位の削減 [kg-CO ₂ /総生産] 原単位分母：総生産	2018年度比 2.0%削減	2018年度比 2.51%削減	達成	省エネ活動実施により排出量を削減
	CO ₂ 排出量絶対値の削減[t-CO ₂]	145 t-CO ₂ のCO ₂ を削減	43 t-CO ₂ 削減	未達	長期CO ₂ 削減目標の初年度ということもあり、中長期的な削減施策の検討に留まり再生可能エネルギーの導入など削減効果が大きい対策の実施に至らなかった。
	エネルギー使用量(原油換算量)原単位の削減 [kL/総生産] 原単位分母：総生産	2018年度比 2.0%削減	2018年度比 2.51%削減	達成	省エネ活動実施により使用量を削減
循環型社会への貢献	産業廃棄物排出量原単位の削減[kg/総生産] 原単位分母：総生産	2018年度比 維持以上削減	2018年度比 7.49%増加	未達	新規事業にて発生した産廃の増加により未達成
	水使用量原単位の削減[m ³ /総生産] 原単位分母：総生産	2018年度比 1.0%削減	2018年度比 2.44%削減	達成	節水活動実施により使用量を削減
	生物多様性活動の推進	アドブトリバー の実施(3カ月 に1回実施)	予定通り実施 (24名参加)	達成	2021年度も引き続き、3カ月に1回実施予定

地域社会とともに

清掃活動「アドプト・ロード&リバー」を実施

当工場は、大阪府が主催する清掃活動「アドプト・ロード&リバー・プログラム」に2004年から参加しています。アドプト・ロードでは毎月1回、工場の最寄駅から当工場正門前までの歩道を清掃し、アドプト・リバーでは、3カ月に1回、工場の横を流れる穂谷川左岸の遊歩道の清掃活動をそれぞれ実施しています。



アドプト・リバー

枚方市立津田小学校で理科出前授業を実施

当工場近隣の枚方市立津田小学校6年生の3クラス96名を対象に「理科出前授業」を実施しました。授業内容は、静電気を利用してコピーができる仕組みを理解する講義、および児童が自分で描いた原稿を手作業でコピーする実験で構成されています。少しでも自分の原稿をうまく写せるように何度も実験を繰り返す児童もあり、実験の楽しさと電気エネルギーが他のエネルギーに変換されて活用されることを実感していただきました。児童からは、「うまく印刷できないときは悔しかったが、光の当て方を長くするなど、やり方を工夫することで印刷の出来栄が変わったりして楽しかった。コピー機が静電気を利用していることなど、いろいろなことを学ぶことができ、理科に興味を持つことができました。」との感想をいただきました。



手作業でのコピーの実験を行う児童

中学生職場体験学習を実施

仕事の現場を体験する中学生の職場体験学習を実施しました。当工場では社会貢献活動の一環として毎年生徒の受け入れを行っており、2019年度は杉中学校・長尾中学校から合計7名の中学生を受け入れました。この職場体験学習は、当工場内での現場作業を中学生が実体験することで、働くことの意義や仕事に対する理解を深めてもらうことを目的としており、2019年度は、部品や製品の品質検査などを体験してもらいました。ある生徒からは、「考えて工夫することも仕事ということを学び、普段できない貴重な体験をさせていただきました。学んだことを生かして勉強を頑張っていきます。」との感想をいただきました。



製品の品質検査の実習

中学生に向けて職業講話を実施

当工場が所在する大阪府枚方市では、市内の中学校を対象に「キャリア教育」と題して、中学生に職業や働くことについて考えるきっかけづくりをするため、1年生には職業講話、2年生には職場体験学習、3年生は進路指導といったプログラムを推進しています。その一環として、枚方市より職業講話の依頼があり、枚方市立長尾中学校の1年生を対象に職業講話を実施しました。講話のあと、生徒たちから、「この職業を選んだ理由は何ですか?」、「仕事でつらかった出来事は?」などの質問も寄せられ、意識の高さを感じることができました。



教室での講話

夏祭りを開催

2019年8月に、近隣住民の皆さま、来賓の皆さま、社員の家族、2,177名の方々に来場いただき、夏祭りを開催しました。枚方市長によるご挨拶のあと、例年ご参加いただいている府立枚方津田高校吹奏楽部の皆さまの演奏や、ダンススクール“MYSTER”の小中学生による素晴らしいダンスパフォーマンス、さらに関西外国語大学アカペラサークル“Vox Chord”の皆さまが素晴らしい歌声を披露するなど、ステージは大変盛り上がりしました。模擬店も、長蛇の列となり賑わいました。



来場者で賑わう会場

社員とともに

労働安全衛生の取り組み

当工場は、安全な職場づくりを最重要課題として取り組んでいます。現在、「無災害継続記録5,016日継続中(2020年3月31日時点)」であり、今後も緊張感を持って取り組むことにより、「無災害継続記録6,100日(無災害記録 第3類)」を目指しています。各部門では毎月1回職場パトロールを行い、安全衛生面での指摘事項を挙げ、是正処置を実施しています。また、グループ内で発生した労働災害に対して水平展開を行い、労働災害を未然に防ぐ取り組みを推進しています。2019年6月には、外部講師を招いてフォークリフトの安全運転講習会を行い、事故事例と順守事項、始業前点検、模擬運転など、フォークリフトにおける安全作業のあり方を再認識し、初心に立ち返って「安全第一」の作業を行っています。



フォークリフト安全運転講習会

健康経営実現の取り組み

当工場は、2018年4月1日に「ひらかた健康優良企業※」に登録し、「禁煙セミナー」や「食生活改善セミナー」、「肩こり・腰痛改善プログラム」などを積極的に実施しています。社員への健康投資を行い、健康経営を実現することは、社員の活力向上や生産性向上など組織全体の活性化をもたらすとともに、企業の業績向上やイメージアップにつながると期待されています。

※枚方市が主催する、従業員の健康づくりに取り組む企業を募集し応援する制度



禁煙セミナー

防災への取り組み

当工場は、南海トラフ巨大地震発生予想地域における防災対策推進地域にも指定されています。このため防災対策には以前から取り組んでおり、有事における被害を最小限にとどめるために、自衛消防隊を主体に防災活動および訓練を毎年秋に実施しています。防火防災訓練では、緊急地震時における初動訓練や避難訓練・初期消火訓練、レスキューキットを用いた救出訓練や、けが人発生時の救護訓練なども実施しています。その他の取り組みとして、枚方寝屋川消防組合から講師の方を招き、屋外消火栓を使用した消火訓練、救護訓練、AEDによる救命など、より具体的な訓練を実施しました。また、新たな試みとして、工場で働く全社員に煙体験ハウスを体験してもらいました。枚方寝屋川消防組合の代表の方からは、「皆さんにとって、安全が最優先となります。各個人、各組織で防災力、災害対応力を高めると同時に被害状況、災害状況の正確な情報共有化に努めて下さい。」との講評をいただきました。また、交代勤務者を対象とした夜間防災訓練も年1回実施しています。この夜間防災訓練は、夜間・休日の有事発生時に、一人ひとりが確実な行動と役割を認識し、被害の拡大防止行動をとることを目的として実施しています。



煙体験ハウス



夜間防災訓練

